

断定する結果には至らなかった。高齢者の場合、通常は自然経過によって記憶低下があらわれてくることを考えると、今後、より長期での追跡調査を行い、介入効果を検討していく必要があると思われる。

6 PETおよびMRIの画像結果と考察

認知機能低下により二次検診を受けた 77 名のうち 11 名[軽度認知障害(MCI)の5名、健常範囲内の者(Non-MCI)6名]が放射線医学総合研究所において^{[11]C}PIB-PETとMRI検査を受けた。MRIではスライス厚 1.2 mm で全脳を含む矢状断方向の3DTI強調画像を撮像し、Voxel-Based Specific Regional Analysis System for Alzheimer's Disease (VSRAD)を用いて脳の萎縮部位を Z-スコアで表示した。Z-スコアの数値が大きいほど脳の萎縮が強いことを示す(0-1: 萎縮なし、1-2: 萎縮ややあり、2-3: 萎縮かなりあり、3+: 萎縮が強い)。ここでは Z-スコアが 1.5 以上を異常に萎縮しているとの閾値とした。その結果、MRI では軽度認知障害の5名中3名において海馬傍回領域の萎縮がみられた(図 3_6_1)。

^{[11]C}PIB-PET検査は約 370MBqの^{[11]C}PIBを静脈投与し、Siemens HR+ scanner を用いて連続した 19 フレームの画像を 90 分間で撮像した。同時に経時的に動脈採血して血漿入力関数を求めた。脳内に前頭皮質、側頭皮質、頭頂皮質、後頭皮質、前部帯状回、後部帯状回、線条体、小脳皮質に关心領域を設けた。^{[11]C}PIBを静脈投与後 35 分から 90 分までの血漿入力関数を用いたLoganグラフ解析を行って各关心領域の分布容積(DV)を求め、さらに各关心領域の分布容積と小脳皮質の分布容積との比(DVR)を求め、アミロイド沈着の指標とした。各被験者において前頭、頭頂、側頭、後頭皮質、前部帯状回、後部帯状回のDVRの平均をとり、大脳皮質のDVRとした。別の健常被験者 10 名(女性7名、男性3名、平均年齢 59 歳)を対象として行った大脳皮質のDVR値の平均 1.20 から 2 標準偏差(1.45)以上を異常なアミロイドの集積ありと判定すると、軽度認知障害者3名と健常者1名において脳内にアミロイド沈着が認められた(図 3_6_2)。脳内に異常なアミロイド沈着があるということは、アルツハイマー病の前駆状態と考えられる。なお軽度認知障害5例のうち脳内に異常なアミロイド沈着がみられなかつた1例についてはMRIにて海馬傍回領域の萎縮がみられた。

以上から、地域の高齢者の認知機能をスクリーニングするとアルツハイマー病の前駆状態と考えられる症例を抽出できることが示された。今後、アルツハイマー病の根本治療薬が開発された場合に、アルツハイマー病の早期発見、早期治療が大切になってくる。本研究は住民健診でアルツハイマー病を早期発見する方法としてのモデルとなる可能性がある。

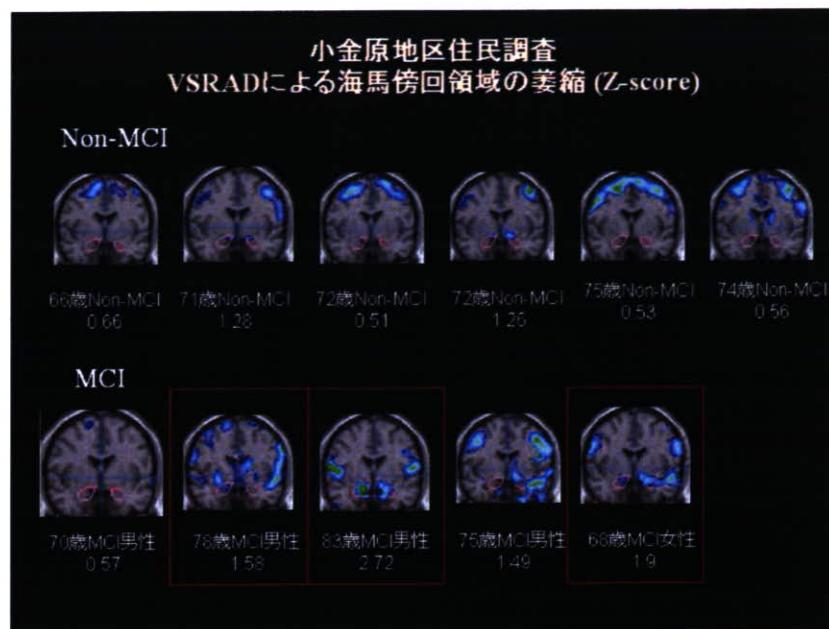


図 3_6_1 MRI T1 強調画像を VSRAD 解析した冠状断画像

色が付いている領域は萎縮があることを示す。画像の下の数字は海馬傍回領域の Z-スコアであり、数値が大きい程萎縮の程度が強いことを表す。1.5 以上を異常な萎縮ありとした（赤枠）。

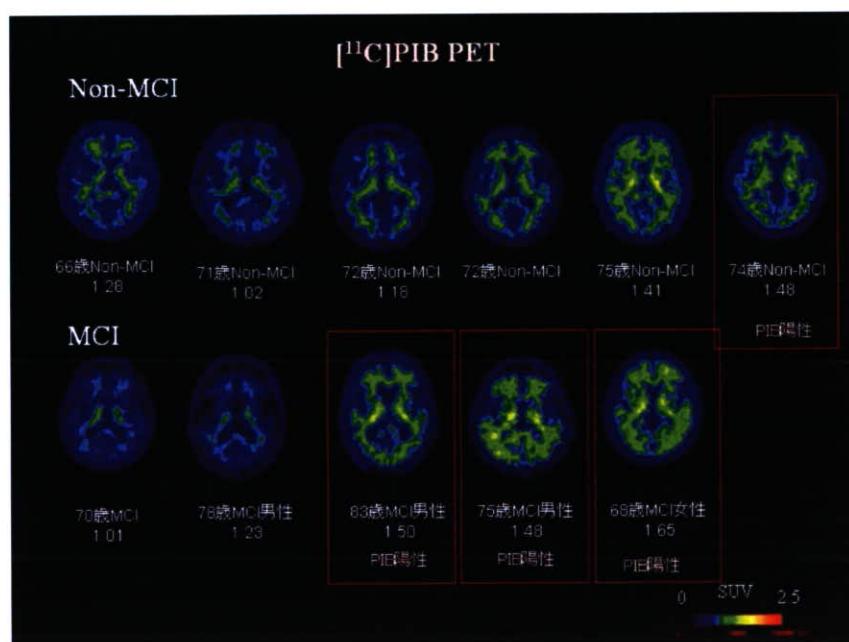


図 3_6_2 PIB PET の画像

画像の下の数値は大脳皮質のDVRであり、数値が大きいとアミロイドの沈着があることを示す。1.45 以上を異常なアミロイド沈着ありとした（赤枠）。

IV 総括

—調査研究結果の要約と総合考察—

IV 総括 一調査研究結果の要約と総合考察一

1 介護状況アンケート結果

① 要介護者の状況

松戸市の要介護者の要介護度別に分類すると、要支援1：8%、要支援2：14%、要介護1：19%、要介護2：8%、要介護3：29%、要介護4：15%、要介護5：8%で、平成18年度千葉県調査結果（要支援1：7%、要支援2：7%、要介護1：25%、要介護2：16%、要介護3：14%、要介護4：13%、要介護5：11%）と比較して、軽度要介護群（要支援1+2+要介護1）、中等度要介護群（要介護2+3）、重度要介護群（要介護4+5）別の分布に大差はなかった。要介護者の原因疾患としては、脳血管障害が全体の39%、認知症が32%、変形性膝関節症17%、変形性腰椎症6%であった。要介護者の介護上の問題となる症状は、「同じことを何度も聞く」47%、「置き忘れ」32%、「意欲低下」28%、「尿失禁」21%、などであった。介護保険サービスの利用状況は、通所介護36%、訪問介護22%、訪問看護15%、通所リハビリ14%、短期入所10%、訪問リハビリ8%であった。

② 介護者の状況

介護者は、女性54%、男性39%、介護者の年齢「70歳未満」55%、「70～79歳」24%、「80歳以上」12%であった。介護期間は、「1年未満」12%、「1～3年未満」28%、「3～5年未満」23%、「5年以上」27%であった。一日の介護時間は、「3時間以内」32%、「4～6時間」17%、「7～9時間」4%、「10～12時間」8%、「13～15時間」0%、「15時間以上」10%であった。介護者の健康状態に関しては、合併症を有する割合が58%にのぼり、疾患としては、本�性高血圧、糖尿病、狭心症、変形性腰椎症、不眠症、神経症などである。介護者自身が要介護状態にある割合が10%で、その内訳は、要支援1：50%、要支援2：13%、要介護1：13%、要介護2：13%であった。一か月の介護費用は、「1万円以内」10%、「1～2万円」19%、「3～4万円」15%、「5～10万円」12%、「10万円以上」4%であった。介護の援助については、介護者一人で介護している割合が48%であった。

介護者の負担を減らすための対処方法としては、「テレビ鑑賞」31%、「睡眠」28%、「友人との会話」26%、「趣味活動」27%などであった。

2 介入前測定と二次検診の結果

運動能力測定では、325人に対し、握力、ファンクショナル・リーチ、開眼片足立ち、落下棒テスト、Timed Up & Go Testを行って、いずれかの項目で2SD以上低下している（開眼片足立ちについては一律5秒未満）住民は58人であった。二次検診での医師の診察の結果、転倒の危険度が高いと判定されたのは24人であった。

うつ状態の心理検査GDSでは、325人の住民が参加して、軽度うつ状態93人、うつ状態16人であった。二次検診（医師の診察）の結果、5人が反応性のうつ状態と判定された。

認知症の前駆症状としてのMCI（Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害）の集団スクリーニング検査であるファイブ・コグ（注意分割力、記憶力、視空間能力、言語能力、推論能力テスト）を325人の住民に行い、1SD以上低下している住民は98人であった。このうち77人に対して、二次検診を行った。CDR、MMSE、WMS-Rの論理的記憶I・IIなどの検査および頭部CT検査を実施した結果、MCIと診断されたのは8人であった。

3 介入の実施

二次検診終了後、平成19年3月から11月までの8ヶ月間、健康度測定および二次検診参加者60人を対象に、週1回2時間の介入（健康増進プログラム）を実施した。参加者の内訳は、MCI群44人、うつ群1人、運動機能障害群9人、健康群46人であった。各群織り交ぜて10人1グループとし、集団体操、認知訓練を実施した。また、予防教室以外の週間プログラムとして、万歩計測定による散歩の促進、認知訓練の宿題を課した。

4 介入後測定と二次検診の結果

介入後の健康度測定では、介入前の健康度測定参加者325人のうち178人が参加し、介入前と同様の測定を行なった。運動能力で基準値以下だった対象者は17人、GDSでうつ状態と判定された者が5人、ファイブ・コグで基準値以下だった者は40人であった。

このうち、介入前と比して新たな低下があった者と、MCI、PreMCIの者、合わせて26人に二次検診を実施した。

二次検診の結果、転倒の危険度と抑うつ状態には、大きな変化はみられなかった。認知機能については、非介入群の5人が新たにMCIと診断された。MCIから引き続きMCIの診断となったのは、介入群で2人、非介入群で2人であった。介入群MCIのうち1人はADに進行し、残り1人は健常へと改善した。

5 介入効果の検討

介入群および非介入群の2回の測定結果（平成18年、平成19年）を比較し、介入の効果を検討したところ、運動機能については、落下棒テスト、開眼片足立ち、Timed Up & Go Testにおいて介入群の有意な向上が確認され、敏捷性、バランス能力、歩行能力への介入効果が示唆された。認知機能については、介入群における視空間能力、言語流暢性の改善が確認された。

6 画像診断の結果

第1回目の二次検診受診者のうち11名[軽度認知障害(MCI)の5名、健常範囲内の者(Non-MCI)6名]に対し、^{[11]C}PIB PETとMR I検査を実施した。その結果、MR Iでは軽度認知障害の5名中3名において海馬傍回領域の萎縮がみられ、軽度認知障害者3名と健常者1名において脳内にアミロイド沈着が認められた。脳内に異常なアミロイド沈着があるということは、アルツハイマー病の前駆状態と考えられる。なお軽度認知障害5例のうち脳内に異常なアミロイド沈着がみられなかった1例についてはMR Iにて海馬傍回領域の萎縮がみられた。

7 総合考察

本研究は、松戸市における認知症、寝たきり高齢者の実態調査と早期対応を目的とした。今回、認知症、寝たきりの高齢者に対する介護状況アンケート実施結果から、下記にその特徴を述べる。

- ① 松戸市の要介護者の介護度別割合を千葉県全体と比較すると、大きな差はなかった
- ② 在宅で介護を受けている認知症、寝たきり高齢者は、障害の重度別にみると中等度障害が過半数であった
- ③ 介護者の負担となる症状としては、身体症状よりも精神症状の方が多かった
- ④ 介護期間は平均3～4年で長期にわたる傾向にある
- ⑤ 介護者のうち、男性では高齢者が多かった
- ⑥ 介護者のうち、合併症により要介護状態となっている割合が11%を占めていた
- ⑦ 一人で介護している介護者の割合が56%と高かった
- ⑧ 介護負担の軽減を図る対処方法が不十分である

以上の結果、在宅における認知症、寝たきり高齢者の介護負担が大きく、今後の対策として、次のようなことが必要である。

- ① 家庭訪問を含む認知症、寝たきりの相談窓口の設置
- ② 認知症及び寝たきり高齢者の介護専門職の連携ケアシステムの構築
- ③ 認知症サポーター及び、寝たきり高齢者に対するサポーターを含む、社会的生活援助ボランティアの育成

認知症サポーターとは、2005年に発足した啓蒙活動であり、その目的は、一般住民を対象に認知症の症状、その要因、認知症に対する関わり方を理解し、手助けや声かけで認知症になっても安心して暮らせる社会を作っていくことができることを伝え、自分にどんなことができるのか一人一人考えてもらうことである。このサポーターやボランティアが、認知症及び寝たきり高齢者宅に友愛訪問をして、要介護者及び介護者と会話、散歩（車椅子も含む）等の社会的生活援助活動を行うことが求められる。

次に、認知症、寝たきり高齢者への早期対応についてであるが、本研究では、運動機能、認知機能への介入効果がみとめられ、早期介入による認知症、寝たきりの予防（＝介護予防）の可能性が示された。

そこで、本章では「まちづくり」という観点から、本研究の効果を考察したい。

本研究では、研究開始に先立ち、「介護予防準備教室」と称して44人の地域住民に対し、本研究と同様の介入を実施していた。この参加者においては、運動機能向上及び意欲向上につながると共に、参加者同士のコミュニケーション向上にもつながった。そして、この介護予防準備教室の卒業生が、本研究の介入においてボランティア指導員として参加した。

本研究の介入（健康増進プログラム）では、測定会参加者325人のうち162人が健康増進プログラムへの参加を希望し、認知症、寝たきり予防への関心が高いことが示された。そして、健康増進プログラムの卒業生は、研究終了後の2008年4月現在も、ボランティア指導員を中心に自主グループとして活動を継続しており、この地域における認知症、寝たきり予防の活動展開が今後も期待されるところである。都市型団地・住宅の多い松戸市は、これまで住民同士のコミュニケーションや地域連携が希薄であったと思われるが、このような介護予防教室の活動が、この地域での連携の広がりとなり、本研究の目的の一つである「認知症になっても、安心して暮らせる町づくり」の一助になると考えられる。

今後の課題として次のような事項があげられる。①今回参加しなかった住民の中に、すでに認知症や寝たきり、うつ病が進行して、自宅に閉じこもり状態になっている高齢者が多数存在すると思われるので、それらの高齢者への対応が急がれる。②医療機関、介護関係諸機関、地域福祉関係者及びボランティアとの連携の構築が必要である。③本研究の研究期間は2年であったが、対象者について、今後も長期的に追跡調査をしていく必要がある。

8 研究発表について

本調査研究の途中経過については、次の通り発表した。

①平成 19 年（2007 年）10 月 15 日 第 22 回 日本老年精神医学会

「松戸市における軽度認知障害の実態調査と予防対応・第一報」

②平成 19 年（2007 年）6 月 22 日 第 49 回 日本老年医学会

「松戸市における軽度認知障害の実態調査と予防対応及び町づくり」

③平成 19 年（2007 年）10 月 13 日 第 8 回 認知症ケア学会

「松戸市における軽度認知障害の実態調査と予防について

—都市型住宅地での高齢化の進行に伴う認知症急増への予防対応—」

④平成 19 年（2007 年）10 月 27 日 リハビリテーション・ケア合同研究大会 2007

「松戸市における運動機能低下予防と認知症予防への取り組み」

また、本調査研究の結果については、次の通り発表予定である。

①平成 20 年（2008 年）6 月 5 日 第 45 回 日本リハビリテーション医学会学術集会

「松戸市小金原地区における健康増進プログラムの効果」

②平成 20 年（2008 年）6 月 5 日 第 45 回 日本リハビリテーション医学会学術集会

「健康増進プログラムにおける歩行機能測定と心拍変動の相関」

③平成 20 年（2008 年）9 月末日 第 9 回 認知症ケア学会

「松戸市における軽度認知障害の実態調査と予防について（第 2 報）」

9 その他（研究成果の刊行等について）

○ 研究成果の刊行に関する一覧

旭 俊臣（2007）. 認知症を医学はどう支えるか 地域リハビリテーション, 2(12),
984-991

旭 俊臣（2008）. 認知症の診療体制とケア, 明日の在宅医療 第 4 卷 高齢者ケアと在宅医療, 中央法規出版.

○ 知的財産件の出願・登録 : なし

○ 健康危険情報 : なし

V 資 料

■ 集 計 表

『介護状況についてのアンケート調査A（介護者用）』集計表

問1 あなたが介護をしている方すべてについてお尋ねします。

(1)あなたが介護にかけている時間が最も長いと思う方一人について、以下の項目をお答えください。

	n	%
全 体	78	100.0
続柄	夫	17
	妻	14
	父	5
	母	21
	義父	2
	義母	5
	子	1
	兄弟・姉妹	1
	その他	1
無回答	11	14.1
性別	男	25
	女	44
	無回答	9
年齢	~70歳未	9
	70~80歳未	22
	~80歳以上	38
	無回答	9

①上記の方が、かかっている病気・けがのすべてに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
脳血管障害	30	38.5
認知症	25	32.1
変形性膝関節症	13	16.7
腰椎症	5	6.4
その他	24	30.8
無回答	11	14.1

②その方は現在、医師にかかっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
かかっている	67	85.9
かかっていない	5	6.4
無回答	6	7.7

④その方の普段の様子について、以下の質問項目についてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

<介護状況調査 A >

		n	%
全 体		78	100.0
歩行	寝たきりで、座っていることもできない	0	0.0
	寝たきりだが、介助すれば座っていることはできる	8	10.3
	自力で寝起きできるが、立つのには支えが必要	13	16.7
	歩行器や手押し車を使用。階段の上り下りは困難	1	1.3
	杖を使って歩ける。階段の上り下りは困難	18	23.1
	短時間なら一人で歩ける	16	20.5
	一人で問題なく歩ける	13	16.7
	無回答	9	11.5
生活圏	寝たきりまたは、どこに移動するにも介助を要する。	11	14.1
	寝床の周辺なら一人で移動する	3	3.8
	自室内を一人で移動できる	7	9.0
	家の中を一人で移動できる	18	23.1
	一人で屋外に出ることができる	14	17.9
	一人で近隣に外出できる	11	14.1
	一人で問題なく外出できる	8	10.3
	無回答	6	7.7
着脱衣	全面的に介助を要する	8	10.3
	指示に多少従えるが、ほぼ全面的に介助を要する	10	12.8
	一人では服を着られず、脱ぐのも部分的に介助が必要	3	3.8
	一人で脱ぐことはできるが、着るのは一部介助が必要	7	9.0
	一人で脱ぎ着できるが、スピードは遅くて、時に不正確	15	19.2
	ほとんど問題なくできるが、スピードはやや遅い	10	12.8
	一人で問題なく着替えられる	18	23.1
	無回答	7	9.0
入浴	特殊浴槽に入浴。または、介護者が体を拭くのみ	10	12.8
	普通浴槽だが、抱いて湯船に入るなど、全面的に介助が必要	5	6.4
	湯船の出入りや体を洗う際、多くの介助が必要	9	11.5
	湯船の出入りには介助が必要だが、自分で部分的に体を洗える	7	9.0
	自力で入浴でき、髪・足など以外はだいたい洗える	10	12.8
	一人で体は洗えるが、髪を洗うには介助が必要	4	5.1
	一人で問題なく入浴できる	25	32.1
	無回答	8	10.3
摂食	口から食べられない	3	3.8
	口から食べられるが、全面的に介助を要する	2	2.6
	全部細かく刻む必要があり、介助なしでは最後まで食べられない	1	1.3
	よくこぼすが、食べにくい物を刻めば一人で最後まで食べられる	14	17.9
	配膳を整えてもらえば、一人で食べられる	23	29.5
	一人できちんと食べられ、お膳の持ち運びやお茶くみもできる	12	15.4
	一人できちんと食べられ、食事の準備・片づけの手伝いもできる	17	21.8
	無回答	6	7.7
排泄	常に失禁し、尿意・便意がない	3	3.8
	常に失禁し、尿意・便意がある。失禁後は不快感を示す	1	1.3
	失禁が多い（尿意・便意を伝えることは可能。常時オムツ着用）	7	9.0
	時々失禁する（気を配って介助すればほとんど失禁しない）	5	6.4
	ポータブルトイレ・しひんを使用し、後始末は不十分である	6	7.7
	トイレで排泄可能だが、後始末は不十分なことがある	16	20.5
	一人で問題なくできる	32	41.0
	無回答	8	10.3

⑤その方の普段の様子について、以下の質問項目についてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

		n	%
	全 体	78	100.0
電話の使い方	自由に電話をかけることができる	24	30.8
	いくつかのよく知っている番号であればかけることができる	16	20.5
	電話で対応できるが電話を使うことができない	13	16.7
	まったく電話を使うことができない	19	24.4
	無回答	6	7.7
買い物	一人で買い物ができる	16	20.5
	少額の買い物であれば一人でできる	8	10.3
	誰かが付き添っていれば買い物ができる	23	29.5
	全く買い物ができない	24	30.8
	無回答	7	9.0
食事の支度	人数にあった支度をして必要十分な用意ができる	7	9.0
	材料が用意してあれば食事の支度ができる	11	14.1
	食事を作ることはできるが、人数にあった用意ができない	6	7.7
	他人に支度してもらう	46	59.0
	無回答	8	10.3
家事	力仕事など以外は一人で家事をすることができる	12	15.4
	食事のあと食器を洗ったり布団を敷くなどの簡単なことはできる	14	17.9
	簡単な家事はできるが、きちんとあるいは清潔に維持できない	8	10.3
	他人の助けがなければ家事をすることができない	12	15.4
	まったく家事をすることができない	23	29.5
	無回答	9	11.5
洗濯	一人で洗濯できる	20	25.6
	靴下などの小さなものは洗濯できる	6	7.7
	他人に洗濯してもらう	46	59.0
	無回答	6	7.7
移動・外出	自動車を運転したり、電車・バスを利用してでかけることができる	7	9.0
	タクシー自分で頼んで出かけられるが、電車やバスは利用できない	6	7.7
	付添があれば電車やバスを利用することができます	13	16.7
	付き添われてタクシーや自動車ででかけることができます	41	52.6
	まったく出かけることができない	4	5.1
	無回答	7	9.0
服薬の管理	きちんとできる	23	29.5
	前もって飲む薬が用意されていれば自分で服薬できる	35	44.9
	自分ではまったく服薬できない	13	16.7
	無回答	7	9.0
金銭の管理	自分でできる（家計費、家賃、請求書の支払い、銀行での用事など）	12	15.4
	日常の買い物は管理できるが、大きな買い物や銀行へは付添が必要	26	33.3
	金銭を扱うことができない	31	39.7
	無回答	9	11.5

⑥その方の普段の様子について、以下の質問項目についてそれぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<介護状況調査 A >

	n	%
全 体	78	100.0
同じ事を何度も聞く	37	47.4
よく物をなくしたり、置き場所をまちがえたり、隠したりする	25	32.1
日常的な物事に关心を示さない	22	28.2
特別な理由がないのに夜中に起き出す	8	10.3
根拠なしに人に言いがかりをつける	4	5.1
昼間、寝てばかりいる	19	24.4
やたら歩き回る	5	6.4
同じ動作をいつまでも繰り返す	6	7.7
口汚くののしる	9	11.5
場違いあるいは季節に合わない不適切な服装をする	9	11.5
不適切に泣いたり笑ったりする	3	3.8
世話をさせるのを拒否する	9	11.5
明らかな理由なしに物を貯めこむ	1	1.3
落ちつきなくあるいは興奮してやたら手足を動かす	1	1.3
引き出しやたんすの中身をみんな出してしまう	4	5.1
夜中に家を歩き回る	2	2.6
家の外へ出て行ってしまう	3	3.8
食事を拒否する	1	1.3
食べすぎる	7	9.0
尿失禁する	16	20.5
日中、目的なく屋内を歩き回る	4	5.1
暴力を奮う	1	1.3
理由無く金切り声をあげる	1	1.3
不適当な性的関係をもとうとする	0	0.0
陰部を露出する	1	1.3
衣服や器物を破ったりする	1	1.3
大便を失禁する	6	7.7
食物を投げる	0	0.0
無回答	27	34.6

→2人以上介護している場合、上記の方以外に何人を介護していますか。

	n	%
全 体	78	100.0
1人	7	9.0
2人	0	0.0
3人	0	0.0
無回答	71	91.0

(2)前問(1)で書いていただいた最も介護にかける時間が長い方について、

①その方は介護保険サービスをうけていますか。

	n	%
全 体	78	100.0
はい	52	66.7
いいえ	20	25.6
無回答	6	7.7

②その方の要介護度についてあてはまるものに○をつけてください。

	n	%
全 体	52	100.0
要支援1	4	7.7
要支援2	7	13.5
要介護1	10	19.2
要介護2	4	7.7
要介護3	15	28.8
要介護4	8	15.4
要介護5	4	7.7
無回答	0	0.0

③その方の受けているすべてのサービスの番号に○をつけ、○をつけた項目の利用頻度もお答えください。

	n	%	平均
訪問 介護 (ホームヘルプ・サー ビス)	全 体	17	100.0
	週に2回未(1.5回含)	7	41.2
	週に2回~4回未	3	17.6
	週に4回以上	7	41.2
	無回答	0	0.0
訪問 入浴 介護	全 体	2	100.0
	月に1回	1	50.0
	月に2回以上	1	50.0
	無回答	0	0.0
訪問 看護	全 体	12	100.0
	月に1回	3	25.0
	月に2回	3	25.0
	月に3回以上	5	41.7
	無回答	1	8.3
訪問 リハビリテーション	全 体	6	100.0
	月に1~4回未	1	16.7
	月に4回以上	5	83.3
	無回答	0	0.0
居宅療養管 理指導	全 体	4	100.0
	月に1回	2	50.0
	月に2回以上	0	0.0
	無回答	2	50.0
通所介護 (デイサービス)	全 体	28	100.0
	月に6回未	6	21.4
	月に6回~15回未	13	46.4
	月に15回以上	7	25.0
	無回答	2	7.1
通所リハビリテ ーション (デイケア)	全 体	11	100.0
	月に5回未	7	63.6
	月に5回以上	3	27.3
	無回答	1	9.1
短期入所生 活介護	全 体	7	100.0
	月に5日未	1	14.3
	月に5日以上	5	71.4
	無回答	1	14.3
短期入所療 養介護	全 体	1	100.0
	月に5日未	1	100.0
	無回答	0	0.0
	無回答	0	0.0
福祉用具貸 代	全 体	18	100.0
	月に1品	5	27.8
	月に2品	6	33.3
	月に3品以上	6	33.3
	無回答	1	5.6
特定福祉用 具販売	全 体	4	100.0
	年に1品	2	50.0
	年に2品	1	25.0
	年に3品以上	1	25.0
	無回答	0	0.0

④よろしければ認定調査票(基本調査)の使用に同意して頂けますか。

	n	%
全 体	52	100.0
はい	37	71.2
いいえ	9	17.3
無回答	6	11.5

⑥あなたが介護している方で、その方以外の方の要介護度について、当てはまるものにいくつでも○を付けてください。

	n	%
全 体	21	100.0
要支援 1	1	4.8
要支援 2	3	14.3
要介護 1	8	38.1
要介護 2	2	9.5
要介護 3	2	9.5
要介護 4	3	14.3
要介護 5	2	9.5

⑦あなたが介護をする上で介護保険サービスは役に立っていると思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。 <介護状況調査A>

	n	%
全 体	78	100.0
とても思う	28	35.9
まあ思う	18	23.1
何ともいえない	12	15.4
あまり思わない	4	5.1
まったく思わない	1	1.3
無回答	15	19.2

(3)あなたの他にご家庭内の方を介護している方は全部で何人いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

	n	%
全 体	78	100.0
いない	38	48.7
1人	13	16.7
2人	10	12.8
3人	5	6.4
4人	1	1.3
5人	0	0.0
決めてない	0	0.0
無回答	11	14.1

問2 あなたの現在のお住まいについてお尋ねします。

(1)当てはまるもの1つに○を付けてください。

	n	%
全 体	78	100.0
一戸建て	48	61.5
集合住宅	26	33.3
無回答	4	5.1

(2)一戸建てにお住まいの方にお尋ねします。

①お住まいは何階建てですか。

	n	%
全 体	48	100.0
1階建て	4	8.3
2階建て	42	87.5
3階建て以上	1	2.1
無回答	1	2.1

②門から玄関までについて当てはまるものすべてに○を付けてください。

	n	%
全 体	48	100.0
玄関からすぐに道に出る	7	14.6
道から玄関まで平坦な道がある	9	18.8
道から玄関まで階段がある	26	54.2
道から玄関まで坂がある	6	12.5
その他	1	2.1
無回答	0	0.0

(3)集合住宅にお住まいの方にお尋ねします。

①何階に住んでいますか。

	n	%
全 体	26	100.0
1階	12	46.2
2階	3	11.5
3階	4	15.4
4階	4	15.4
5階	1	3.8
6階	1	3.8
無回答	1	3.8

②エレベータは付いていますか。

	n	%
全 体	26	100.0
はい	2	7.7
いいえ	23	88.5
無回答	1	3.8

③エレベータあるいは階段からお住まいまでは、離れていると思いますか。

	n	%
全 体	26	100.0
とても思う	0	0.0
やや思う	1	3.8
どちらともいえない	3	11.5
あまり思わない	6	23.1
まったく思わない	11	42.3
無回答	5	19.2

④1階入り口の共有スペースについて当てはまるものすべてに○をつけてください。

	n	%
全 体	26	100.0
入り口に階段や段差がある	18	69.2
手すりがない	4	15.4
入り口は手動のドア・扉である	8	30.8
狭い	6	23.1
管理人さんが見えるように配置してある	0	0.0
共有スペースはない	3	11.5
無回答	5	19.2

(4)現在のお住まいについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
介護のために住宅を改修した	27	34.6
介護のために転居した	7	9.0
特に何もしていない	27	34.6
その他	8	10.3
無回答	9	11.5

→住宅を改修された方にお尋ねします。

①改修にかかった費用はどのくらいでしたか。

平均	¥1,334,280
最高値	¥13,000,000
最低値	¥0
中央値	¥200,000

また、その費用負担はどうされましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	n	%
全 体	27	100.0
本人が負担した	9	33.3
介護者が負担した	8	29.6
親戚で出し合った	0	0.0
介護保険を利用した	16	59.3
その他	1	3.7
無回答	1	3.7

(5)現在のお住まいはバリアフリーだと思いますか。

	n	%
全 体	78	100.0
はい	24	30.8
いいえ	44	56.4
無回答	10	12.8

問3 介護にかかる時間についてお尋ねします。

(1)あなたはこれまでどのくらいの期間、介護をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
1ヶ月未満	1	1.3
半年未満	5	6.4
1年未満	3	3.8
1年	6	7.7
2年	16	20.5
3年	13	16.7
4年	5	6.4
5年以上	21	26.9
無回答	8	10.3

(2) あなたは週に何日ぐらい、介護をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
1日	2	2.6
2日	4	5.1
3日	4	5.1
4日	2	2.6
5日	1	1.3
6日	2	2.6
7日	41	52.6
不定	13	16.7
無回答	9	11.5

(3) 介護しない日を週に何回くらいとりたいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
いらない・0日	11	14.1
1日	5	6.4
2日	19	24.4
3日	7	9.0
4日	3	3.8
5日	1	1.3
6日	1	1.3
7日	2	2.6
不定	15	19.2
無回答	14	17.9

(4) あなたは1日にどのくらいの時間、介護をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
1時間未満	5	6.4
1~3時間	20	25.6
4~6時間	13	16.7
7~9時間	3	3.8
10~12時間	6	7.7
13~15時間	0	0.0
15時間以上	8	10.3
その他あるいは不定	14	17.9
無回答	9	11.5

(5) 1日のうち介護しない時間をどのくらいとりたいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
1時間未満	1	1.3
1~3時間	10	12.8
4~6時間	10	12.8
7~9時間	1	1.3
10~12時間	4	5.1
13~15時間	3	3.8
15時間以上	4	5.1
その他あるいは不定	21	26.9
無回答	24	30.8

問4 あなたの普段の生活のことについてお尋ねします。

(1) 睡眠は十分に取れていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
とても思う	16	20.5
やや思う	28	35.9
どちらとも言えない	13	16.7
あまり思わない	11	14.1
まったく思わない	5	6.4
無回答	5	6.4

(2) 食事は規則的にとっていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
とても思う	30	38.5
やや思う	31	39.7
どちらとも言えない	7	9.0
あまり思わない	3	3.8
まったく思わない	3	3.8
無回答	4	5.1

(4) 介護をしていないときに、主にあなたがしていることすべてに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
家事(介護以外)	43	55.1
テレビを見ている	39	50.0
知人・友人と会って話をする	20	25.6
自宅での趣味活動(テレビ以外)	20	25.6
外出して趣味活動	24	30.8
収入のある仕事	24	30.8
睡眠	16	20.5
特に決まっていない	10	12.8
その他	11	14.1
無回答	8	10.3

(5) あなたにとって介護でのストレスをいやしてくれるものすべてに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
家事(介護以外)	8	10.3
テレビを見ている	24	30.8
知人・友人と会って話をする	20	25.6
自宅での趣味活動(テレビ以外)	21	26.9
外出して趣味活動	27	34.6
収入のある仕事	8	10.3
睡眠	22	28.2
特に決まっていない	8	10.3
その他	12	15.4
無回答	11	14.1

(6) 今現在、在宅介護に関連してかかる費用は1ヶ月にどのくらいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
1万円未満	8	10.3
1万円台	3	3.8
2万円台	12	15.4
3万円台	8	10.3
4万円台	4	5.1
5~10万円台	9	11.5
10万円以上	3	3.8
その他あるいは不定期	13	16.7
無回答	18	23.1

⇒さしつかえなければ、大体いくら程度かお答えください。

平均	¥65,366
最高値	¥500,000
最低値	¥20
中央値	¥34,000

<介護状況調査A>

問5 介護するに当たって、あなたの周りの人からの支援についてお尋ねします。

(1)以下のそれの方について、現在支援してもらっていること、

及び今後、支援してもらいたいことすべての番号に○をつけてください。

現在、支援して もらっていること		今後、支援して もらいたいこと			
		n	%	n	%
	全 体	78	100.0	78	100.0
同居してい るご家族	介護の手伝い	16	20.5	15	19.2
	家事(介護以外)の手伝い	16	20.5	8	10.3
	相談にのる、励ましてくれる	18	23.1	20	25.6
	介護に役立つ情報の提供	9	11.5	25	32.1
	経済的援助	6	7.7	2	2.6
	その他	1	1.3	1	1.3
	無回答	47	60.3	43	55.1
同居せず 近所にいる ご家族	介護の手伝い	7	9.0	17	21.8
	家事(介護以外)の手伝い	5	6.4	16	20.5
	相談にのる、励ましてくれる	12	15.4	16	20.5
	介護に役立つ情報の提供	4	5.1	8	10.3
	経済的援助	1	1.3	8	10.3
	その他	3	3.8	1	1.3
	無回答	58	74.4	50	64.1
同居せず 遠方にいる ご家族	介護の手伝い	4	5.1	14	17.9
	家事(介護以外)の手伝い	4	5.1	9	11.5
	相談にのる、励ましてくれる	11	14.1	12	15.4
	介護に役立つ情報の提供	3	3.8	7	9.0
	経済的援助	2	2.6	3	3.8
	その他	3	3.8	4	5.1
	無回答	61	78.2	51	65.4
近所にいる 親類	介護の手伝い	2	2.6	6	7.7
	家事(介護以外)の手伝い	3	3.8	5	6.4
	相談にのる、励ましてくれる	7	9.0	10	12.8
	介護に役立つ情報の提供	2	2.6	3	3.8
	経済的援助	0	0.0	1	1.3
	その他	3	3.8	2	2.6
	無回答	66	84.6	61	78.2
遠方にいる 親類	介護の手伝い	1	1.3	3	3.8
	家事(介護以外)の手伝い	2	2.6	2	2.6
	相談にのる、励ましてくれる	9	11.5	8	10.3
	介護に役立つ情報の提供	2	2.6	1	1.3
	経済的援助	0	0.0	0	0.0
	その他	3	3.8	0	0.0
	無回答	65	83.3	65	83.3
近所にいる 友人・知人	介護の手伝い	3	3.8	1	1.3
	家事(介護以外)の手伝い	0	0.0	0	0.0
	相談にのる、励ましてくれる	15	19.2	8	10.3
	介護に役立つ情報の提供	6	7.7	1	1.3
	経済的援助	0	0.0	1	1.3
	その他	6	7.7	5	6.4
	無回答	55	70.5	66	84.6
遠方にいる 友人・知人	介護の手伝い	0	0.0	3	3.8
	家事(介護以外)の手伝い	0	0.0	3	3.8
	相談にのる、励ましてくれる	7	9.0	13	16.7
	介護に役立つ情報の提供	1	1.3	6	7.7
	経済的援助	0	0.0	0	0.0
	その他	3	3.8	5	6.4
	無回答	68	87.2	56	71.8
介護の 専門家 (ヘルパー等)	介護の手伝い	15	19.2	21	26.9
	家事(介護以外)の手伝い	8	10.3	11	14.1
	相談にのる、励ましてくれる	20	25.6	23	29.5
	介護に役立つ情報の提供	25	32.1	29	37.2
	その他	2	2.6	4	5.1
	無回答	43	55.1	38	48.7

(2) 現在、あなたが特に頼りにしている方はどなたですか。当てはまるものに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
同居しているご家族	37	47.4
同居せず近所にいるご家族	19	24.4
同居せず遠方にいるご家族	13	16.7
近所にいる親類	7	9.0
遠方にいる親類	4	5.1
近所にいる友人・知人	10	12.8
遠方にいる友人・知人	1	1.3
介護の専門家(ヘルパー等)	22	28.2
その他	4	5.1
無回答	6	7.7

(3) 近所の友人・知人についてお尋ねします。

① 介護をするようになってからの近所の友人・知人と会う機会の変化について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
とても増えた	2	2.6
やや増えた	2	2.6
変化はない	33	42.3
やや減った	18	23.1
とても減った	8	10.3
近所に友人・知人はいない	6	7.7
無回答	9	11.5

② 介護に関しての近所の知人・友人との関係について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	63	100.0
状況も知らせていないし、特に協力も得ていない	21	33.3
状況などは知ってもらっている	24	38.1
ときどき相談に乗ってくれる	10	15.9
ときどき介護の協力をしてもらっている	5	7.9
何度も介護の協力をしてもらっている	0	0.0
回答	3	4.8

(4) 遠方にいる友人・知人についてお尋ねします。

① 介護をするようになってからの、遠方にいる友人・知人と会う機会の変化について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	78	100.0
とても増えた	0	0.0
やや増えた	2	2.6
変化はない	24	30.8
やや減った	14	17.9
とても減った	18	23.1
遠方に友人・知人はいない	5	6.4
無回答	15	19.2

② 介護に関しての遠方にいる友人・知人との関係について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

	n	%
全 体	58	100.0
状況も知らせていないし、特に協力も得ていない	19	32.8
状況などは知ってもらっている	28	48.3
ときどき相談に乗ってくれる	7	12.1
ときどき介護の協力をしてもらっている	0	0.0
何度も介護の協力をしてもらっている	2	3.4
無回答	2	3.4